

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○ 子どもが期待して登校し、熱中して学び、満足して帰る学校づくりを目指します。	
・ 子どもが自分のよさを生かして学びを創る授業づくりが推進され、学力・体力の向上が図られています。	
・ 多様な集団の中で一人一人が大切にされ、安心して楽しい学校生活を過ごせるようにしています。	
・ 地域・保護者と連携・協働して、社会の要請や期待に応える学校づくりが行われています。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		道徳の時間をはじめ、様々な教育活動を通して、自分や他人を尊重する心情や態度の育成、規範意識の向上が図られています。	①道徳教育の充実（年1回以上の授業参観による公開、「生きる」「私たちの道徳」の効果的な活用、学校行事を含めた様々な教育活動に合わせた指導内容の検討等） ②地域や岡野中学校と連携したあいさつ運動の継続や感謝の気持ちを表せる子どもの育成 ③異学年交流を通じた子ども同士の親和的な関係づくり ④規範意識の育成 ⑤音楽活動の充実
担当	道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

子どもたちは素直で、人なつこい面がある。地域からの協力も得られ、地域の行事への参加も盛んである。あいさつ運動の効果が少しずつ表れてきている。自分に対してはやや自信がないところがあり、自主的に計画したり行動したりすることにやや抵抗を感じる児童もいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・ 横浜版学習指導要領を活用し、道徳の時間のカリキュラムマネジメントを推進する。
 - ・ 全学級の道徳の授業公開を年1回以上行い、授業評価を行う。
 - ・ 学校生活の中で、感謝する気持ちを意識させていく。
 - ・ 道徳教育について、学校ホームページ、学校だより、学級だより等で家庭・地域に発信し、意識の啓発を図る。
 - ・ 「セカンドステップ」を実施する。（1年生・2年生）
- 【視点1】

指針2 体験学習の充実

- ・ 異学年交流（たてわり活動、ペアーズ）を充実させる。
「児童会活動」「クラブ活動」などの「異年齢集団活動」をより主体的、意欲的に行うようにする。
 - ・ 集団宿泊体験学習の充実（活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる。）
 - ・ 音楽活動の充実（音楽朝会の充実、「平沼ソングパーティー」の実施）
 - ・ 係活動や当番活動の充実（自分たちで計画を立て運営できる力を育成する。）
 - ・ 読書活動の推進
- 【視点3】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ 人権研修の実施、特別支援教育・国際理解教室の推進を図る。
 - ・ 個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実を図る。
 - ・ 「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に学校全体で取り組む。
 - ・ 特別支援教育の観点から、授業のユニバーサルデザイン化を進め、児童一人一人が尊重し合い、関わり合う環境をつくる。
- 【視点8】